

たけのうち便り Vol.15



いつもお買い上げいただきありがとうございます。お米のほか季節や地域の情報をお届けいたします

たんぼの様子

鴨川市長狭地区で

4月中旬から5月上旬にかけて植えられた稲が20センチ～30センチほどに成長していました。この時期農家の方はたんぼに水が無くならないよう管理に気を付けます。



24.5.23撮影

鴨川の景色



大小7つの島々からなる鴨川松島。新日本百景にも選ばれています。島々の緑と透き通るような海のコントラストがとても美しい風景です。他に



も観光スポットがたくさんある鴨川市。ぜひ遊びにいらしてください。(写真:24.5.23撮影)

イベント: シーフеста2012 in KamoGawa

2012年6月2日(土)・3日(日) 前原海岸にて開催されます。“フラフェスタ”や“チャリティビアガーデン”、鴨川物産展など盛りだくさん。鴨川から一足早い夏を始めませんか?! (詳細は<http://seafesta.com>をご覧ください)

注目!! お米の保管に注意

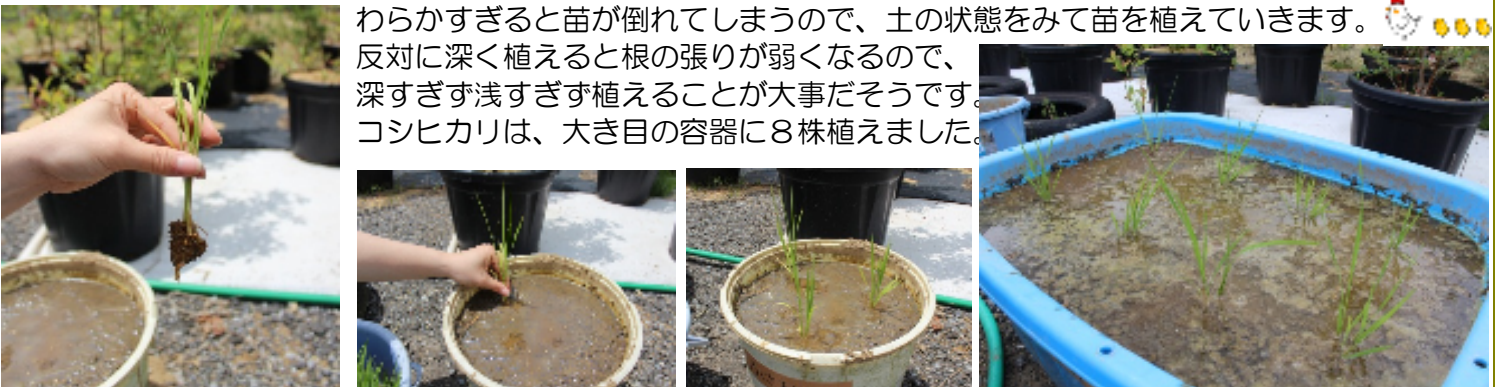


これから気温が高くなり、また梅雨時で湿気の多い季節になりますが、ご家庭でお米はどのような場所に保管されていますか? お米は高温・湿気が大敵です。なるべく風通しのよい気温の低い場所に置きましょう。お米は生ものですので、精米した時から酸化が始まります。夏場は2週間程度で食べきれぬ量のお米を購入することをお勧めします。正しい保管方法でおいしいお米をお召し上がりください。



バケツ稲

今年も、バケツで稲を育ててみます。バケツに土と水を入れ、「お米専科」という肥料を入れました。お米専科は、珪藻土(けいそうど)を中心に海藻・米ぬか等を発酵させたお米専用の土壌改良剤です。酵素の働きにより、苗の発芽・発根を促進するのです。お米専科を混ぜたあと、5日～7日ほどおいてから、苗を植えました。土がやわらかすぎると苗が倒れてしまうので、土の状態をみて苗を植えていきます。反対に深く植えると根の張りが弱くなるので、深すぎず浅すぎず植えることが大事だそうです。コシヒカリは、大き目の容器に8株植えました。



お米の注文はこちらまで: 竹ノ内米店 フリーダイヤル: 0120-07-0334

インターネット販売 <http://www.takenouchikometen.com> ホームページもご覧ください。